

セキュリティアセスメントの導入で、情報セキュリティ体制を整備し働き方改革（テレワーク等）の促進と業務の効率化を実現する

東海理研株式会社
岐阜県関市武芸川町谷口599番地
<https://www.tokairiken.co.jp/>

課題

- ・ 6年以上前に策定したセキュリティポリシーが実態に合わなくなっている
- ・ 2014年にSKYSEAを導入したが十分活用できていない
- ・ 2020年のコロナ禍により、在宅勤務を含むテレワークを前提とした対策が急務

実施内容

セキュリティアセスメントの実施

1. 社長が統括、情報システム部が責任者となり、各部署から1名選出し、「情報Sプロジェクト」を発足。
2. 監査資格を擁する専門家2名により、セキュリティアセスメント、指導の体制を整備。
3. 部門長とプロジェクトメンバーが中心となり、各部門の情報の洗出しと情報の機密性・完全性・可用性についての評価を実施。
4. セキュリティアセスメントの実施。
5. セキュリティアセスメントの結果を元に、セキュリティポリシーと情報セキュリティ規程を策定。

事業の効果、今後の展開

【事業の効果】

- ・ セキュリティアセスメントにより、現状を客観的に捉え、内部統制強化と従業員リテラシーの向上が図られた。
- ・ 人が守る事は、「ルールブック」で。機械やシステムで守れる事はSKYSEAを利用し効果的なセキュリティ体制が構築できた。

【今後の展開】

- ・ SKYSEAを活用し、テレワークでの超過労働の抑制をはかる。
- ・ 自社のセキュリティ商品を「企業のセキュリティ対策製品」として販売を拡大すべく、自ら取入れ活用していく。

SKYSEAとルールブックによる セキュリティ体制の強化

1. アセスメント結果を元に、情報セキュリティにおける具体的な取り扱い方法を部門長を交え決定。
2. 機械やシステムで守れるものはSKYSEAを利用し、それ以外は「ルールブック」を作成し運用することとした。
3. コロナ禍におけるテレワークの推進についてもSKYSEAとルールブックの活用を検討した。
4. ルールブックにおいては、「テレワーク」項目を作成し、守るべきルールの明確化をはかった。
5. SKYSEAにおいては、テレワークで起こりがちな超過労働時間を抑制すべく、「定時時刻メッセージ」を表示、接続の制限、等々を検討している。